

# 平成30年度事業計画

## I 事業方針

当法人は、ボランティア活動の定着と発展を図るため『福祉のまちづくり』を基本理念として、効果的・効率的な助成を進めていますが、金利が全般的に低下している中、ボランティアのニーズに十分応えきれていないのが現状です。

地域の担い手となるボランティア団体の活動が活発に展開されるよう満足度の高い助成事業を目指していきます。

また、法人の行う事業の積極的なPR及び公益法人としてのメリットである寄付税制を活かし多様な形での寄付の呼びかけを行い、安定した運営に努めていきます。

## II 事業の内容

### 1 基金造成・普及啓発事業

企業、団体などに幅広く理解を求め募集に努めるとともに、イベントの開催や募金活動への取組みを行い基金の造成を図ります。

#### (1) 団体・企業への寄付協力依頼

#### (2) 給料の端数募金協力依頼

毎月支払う、職員の給料の100円未満の端数募金

#### (3) チャリティーゴルフ大会の開催（2回開催）

第1回 平成30年 6月 8日（金）西日本セブンスリーGC

第2回 平成30年11月 予定

#### (4) 缶バッチ募金の取組み

缶バッチ募金は、1個につき募金200円として、イベントやカプセルトイ（小型自動販売機）を活用し実施しており、現在、7種類で取組んでいるが、活性化を図るため新デザインの缶バッチを追加します。

#### (5) 強調月間（6月）事業の実施

原則として6月1日～30日までの期間を強調月間とし、ボランティア体験月間（7月、8月）など市町ボランティアセンター事業との関連から、期間については柔軟な対応で、啓発活動を図るとともに事業の普及啓発及び募金活動を実施します。

① 街頭募金・啓発活動

マスコットキャラクター（ミイ）の着ぐるみを活用して、法人の事業内容を示したリーフレット及びポケットティッシュなどの啓発物品の配布によるPRを図るとともに募金活動を行います。

日 時：平成30年6月1日（木）

場 所：

※時間、場所は調整中

② 市町社会福祉協議会、ボランティア団体による募金・啓発活動

特に法人の助成を受けた社会福祉協議会やボランティア団体には、積極的な協力を求めています。その実施方法については、地域のイベントとタイアップした方法などによる自主的な取組みとします。

③ 職域募金の実施

ア 募金箱の設置

県及び県関係機関、市町、市町社会福祉協議会、農業協同組合、商工会、社会福祉施設などに既に設置いただいている募金箱の浄財の回収及び再度設置を依頼するとともに、新たな設置先の拡大を図ります。

イ ピンバッジ募金

募金金額を設定したピンバッジを各職域に依頼するとともに、市町社会福祉協議会ボランティアセンターの協力を得て、各ボランティア団体にも発信します。

(6) 各種の研修会場での啓発・募金活動

三重県社会福祉協議会及び三重県民生委員児童委員協議会などが実施する研修会において、ボランティア活動支援の必要性について理解を求め募金への協力を依頼します。

(7) 広報啓発

助成募集や寄付募集、寄付者の紹介、イベントの開催などについて下記の媒体により周知します。

①CMの放映依頼（三重テレビ放送）

②新聞社への取材依頼

③『福祉みえ』（三重県社会福祉協議会発行の機関誌）への掲載依頼

④『社協だより』（市町社会福祉協議会発行の機関紙）への掲載依頼

⑤ホームページの更新

⑥パンフレットの作成

⑦啓発物品の作成

## 2 助成事業

福祉活動を目的としたボランティア団体などの活動支援を行うため、下記の助成を実施します。

平成30年度助成事業費総額 6,700,000円

(内訳)

事業名	事業内容	時期
1. ボランティア団体基盤強化助成 H29 予算 1,400,000 円 H30 予算 1,600,000 円  積算：@200,000×8ヶ所分	ボランティア団体の基盤強化を目的とした器材・器具の助成  助成先：ボランティア団体	4月募集・8月審査、配分
2. ボランティアセンター基盤強化助成 H29 予算 1,600,000 円 H30 予算 1,600,000 円  積算：@200,000円×8ヶ所	器材・器具の助成で個々のボランティア団体には利用頻度が少なく、他の団体と共用可能な器材の助成（V団体の活動拠点となるVCに整備し、活動の促進を図る。）  助成先：市町ボランティアセンター	4月募集・8月審査、配分
3. 三重県ボランティア連絡協議会活動事業助成 H29 予算 300,000 円 H30 予算 300,000 円	三重県ボランティア連絡協議会に対し、県内のボランティア活動推進のための経費の助成  助成先：三重県ボランティア連絡協議会	4月募集・8月審査、配分
4. 平成30年度実施ボランティア活動資金助成 H29 予算 500,000 円 H30 予算 500,000 円	先駆的・モデル的な活動（福祉のまちづくり）に対する事業費の助成  助成先：ボランティア団体	例年：前年10月募集・3月審査、配分  当該年度：4月再募集・8月審査、配分

<p>5. 災害時緊急支援助成費 H29 予算 500,000 円 H30 予算 500,000 円</p>	<p>県内外でおきた災害に対し、緊急対応のための支援助成</p> <p>助成先：みえ災害ボランティア支援センター 災害ボランティアセンター</p>	<p>随時</p>
<p>6. 災害ボランティアコーディネーター養成事業 (5カ年事業) H29 予算 1,000,000 円 H30 予算 1,000,000 円</p>	<p>災害ボランティアコーディネーターを養成するための事業にかかる経費</p> <p>助成先：三重県ボランティアセンター (市町ボランティアセンター職員対象) 市町ボランティアセンター (地域における防災関係者を対象)</p>	<p>4月募集・8月審査、配分</p>
<p>7. 災害時のボランティア活動推進基盤整備助成 (5カ年事業) H29 予算 1,200,000 円 H30 予算 1,200,000 円 積算：@300,000 円×4ブロック</p>	<p>災害時におけるボランティア活動の実施にあたり必要とされる備品の整備を図るための助成</p> <p>助成先：市町ボランティアセンター ※県内ボランティアセンターを生活圏域で4ブロックに区分し、毎年各ブロックに配分する。</p>	<p>4月募集・8月審査、配分</p>

### 3 善意銀行事業

#### (1) 自立を励ます会への助成

三重県児童養護施設協会に対して、高等学校又は中学校を卒業し施設から巣立つ児童を対象に開催する激励会費用に助成します。

平成29年度予算 50,000円

平成30年度予算 50,000円

#### (2) 物品などの寄贈

寄せられた物品で当法人が換金できる物については、換金して寄付金収入として扱います。換金できない物品や行事、芸能預託については、社会福祉に役立てられるよう必要とするところへ提供します。

##### ① 物品預託

古切手、使用済みテレカ、書き損じハガキなどの預託

##### ② 行事・芸能預託

#### 4 事務局体制の充実強化

事務局長	1名（兼務）	→	1名（兼務）
事務局次長		→	1名（兼務）
書記	1名（専任）	→	2名（兼務）